



防災だより

(発行元) 愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



6月は土砂災害防止月間です。日頃の備えと早めの避難を心がけましょう

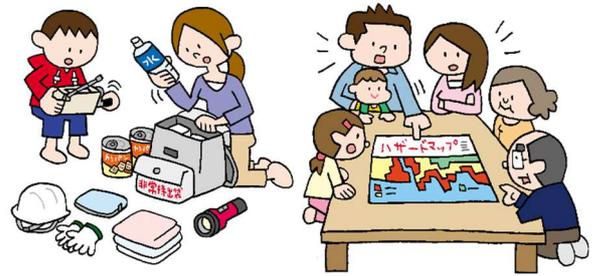
土砂災害とは、大雨や地震で山や崖が崩れたり、水と混じりあった土や石が川から流れ出たりすることによって、家や田畑や道路を壊し、人の命まで奪ってしまう自然災害です。

●土砂災害から命を守るために

1 日頃から住んでいる地域の危険度を把握する

普段からご自分の家が土砂災害の恐れのある地区にあるかどうか、愛南町総合防災マップや愛南町または愛媛県のホームページなどで確認しましょう。

避難の際に、どこにどのように逃げるのか、避難場所や避難経路を確認しましょう。また、緊急避難時持出用品セットを準備しておきましょう。



2 雨が降り出したら気象情報に注意

雨が降り出したら、「土砂災害警戒情報」「大雨警報」「大雨注意報」の発表などの気象情報に注意しましょう。

土砂災害の危険度が高まっている詳細な範囲については、気象庁が公表している土砂災害の危険度分布(キキクル)で確認することができます。



(気象庁キキクルQRコード)



3 豪雨になる前に早めの避難行動を

お年寄りや障がいのある人など避難に時間がかかる人や、夜中に大雨が想定される場合は、警戒レベル3の高齢者等避難が発令されたタイミング等で早めに避難することがより安全です。避難情報の発令がなくても危険を感じたら自主避難をお願いします。

浸水などで避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上や、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に移動しましょう。



土砂災害から身を守るためには、防災情報を正しく理解し、避難場所や避難経路をあらかじめ確認するなど「日頃の備え」と、雨量情報や土砂災害の前兆現象などに注意し「早めの避難」を心がけることが大切です！

●土砂災害警戒情報について

大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、愛媛県と松山地方気象台が共同で発表する情報です。

土砂災害警戒情報は、テレビやラジオ、気象庁ホームページなど通じて発表されます。

また、緊急速報メールでもお知らせします。状況に応じて愛南町から避難指示などの避難情報の発令を行います。危険を感じたら自主的に早めの避難行動をとることが重要です。

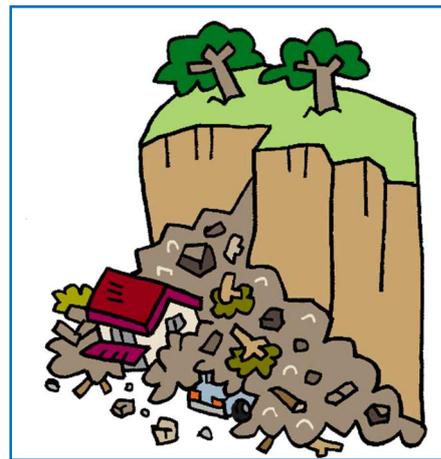
●土砂災害の種類とその特徴

がけ崩れ（急傾斜崩壊）

雨などの影響によって、土がゆるんで、斜面が突然崩れ落ちる現象をいいます。突然起きるため、家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、命にかかります。

こんな前兆現象に注意！

- がけにびび割れができる
- 地下水や湧き水が止まる
- 小石がパラパラと落ちてくる
- がけから水がわき出る など



土石流

土石流というのは、谷や斜面にたまった土や砂、石などが、水と一緒にあって、一気に下流へ押し流される現象をいいます。

流れの速さは規模にもよりますが、20km/h から 30km/h という速度で一瞬のうちに家や畑などは、壊され、無くなってしまいます。

こんな前兆現象に注意！

- 山鳴りがする
- 急に川の水が濁り、流木が混ざる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる など



地すべり

比較的緩やかな山の斜面において、地下水などの影響によりゆっくりと斜面下側に移動する現象をいいます。動く土の量が多いため、広い範囲に影響が及びます。

こんな前兆現象に注意！

- 地面がひび割れたり陥没する
- 家や擁壁に亀裂が入る
- がけや斜面から水が噴き出す
- 井戸や沢の水が濁る など

